

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公表番号】特表 2003-510243 (P2003-510243A)

【公表日】平成 15 年 3 月 18 日 (2003.3.18)

【出願番号】特願 2000-517725 (P2000-517725)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 33/18

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 47/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 15/14

A 6 1 P 35/00

【F I】

A 6 1 K 33/18

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 47/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 15/14

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 7 月 29 日 (2003.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物に治療用ヨウ素を投与するための組成物であって、薬学的に許容されるヨウ素種の酸化剤、薬学的に許容されるヨウ素還元剤を実質的に含み、これらの化合物の内少なくとも一つはヨウ素種を含有し、かつ薬学的に許容される担体を実質的に含み、該担体が、0.8以上の分子ヨウ素/総ヨウ素比で生体内で分子ヨウ素を発生するのに十分な量で、該哺乳動物の胃に存在する胃液と接触すると酸化還元反応をするように選ばれる該酸化剤及び還元剤を有する哺乳動物に治療用ヨウ素を投与するための組成物。

【請求項 2】

上記薬学的に許容される担体が、スクロース、ラクトース、マルトデキシトリン、マニトール、デキシトレート、デキシトロース、グルコース、ソルビトール、マイクロクリスタリンセルロース、澱粉、炭酸ナトリウム、炭酸マグネシウム、炭酸カリウム、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、カルボキシメチルセルロース、クロスカルメロースセルロース、ポリエチレングリコール、ホウ酸、安息香酸塩、酢酸塩、オレイン酸塩、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸、タルク、硬化植物油、ヒドロキシメチルセルロース、セルロース、リン酸カルシウム、リン酸ナトリウム、リン酸カリウム及び、これらの組合せからなる群から選ばれる非毒性賦形剤である請求項 1 に記載の非水性組成物。

【請求項 3】

上記酸化剤および還元剤が、それぞれヨウ素酸塩及びヨウ化物を含む請求項 1 に記載の

組成物。

【請求項 4】

上記ヨウ化物が、ヨウ化ナトリウム、ヨウ化カリウム、ヨウ化アンモニウム、ヨウ化カルシウム、及びヨウ化マグネシウムからなる群から選ばれる請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

上記ヨウ素酸塩が、ヨウ素酸カルシウム、ヨウ素酸カリウム及びヨウ素酸ナトリウムからなる群から選ばれる請求項 4 に記載の非水性組成物。

【請求項 6】

ヨウ化物陰イオン/ヨウ素酸塩陰イオンの好ましい重量比が、3.63～1.0である請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 7】

ヨウ化物陰イオン/ヨウ素酸塩陰イオン（[I-]/[IO₃⁻]）重量比が、0.78～6.0である請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 8】

上記非水性組成物の投与前の哺乳動物の胃内の胃液の pH が、4.5未満である請求項 3 に記載の水性組成物。

【請求項 9】

上記ヨウ素酸塩陰イオン及び上記ヨウ化物陰イオンが、水性組成物に溶解された後、薬学的に許容される担体に塗布され、乾燥される請求項 2 に記載の非水性組成物。

【請求項 10】

上記酸化剤及び還元剤が、過酸化水素源、ヨウ化物、及び、西洋わさびペルオキシダーゼ、大豆ペルオキシダーゼ、ラクトペルオキシダーゼ及びミエロペルオキシダーゼからなる群から選ばれるペルオキシダーゼを含む請求項 2 に記載の非水性組成物。

【請求項 11】

上記酸化剤及び還元剤が、それぞれ溶液又はエマルジョンに含まれるヨウ素酸塩及びヨウ化物を含む請求項 1 に記載の水性組成物。

【請求項 12】

上記ヨウ化物が、ヨウ化ナトリウム、ヨウ化カリウム、ヨウ化アンモニウム、ヨウ化カルシウム、及びヨウ化マグネシウムからなる群から選ばれる請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

上記ヨウ素酸塩が、ヨウ素酸カルシウム、ヨウ素酸カリウム及びヨウ素酸ナトリウムからなる群から選ばれる請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

上記ヨウ化物陰イオン/ヨウ素酸塩陰イオンの好ましい重量比が、3.63～1.0である請求項 11 に記載の水性組成物。

【請求項 15】

上記ヨウ化物陰イオン/ヨウ素酸塩陰イオン（[I-]/[IO₃⁻]）の好ましい重量比が、0.78～6.0である請求項 11 に記載の水性組成物。